

生活援助論演習Ⅱ

- 科目到達目標：① 看護の基本的機能を踏まえて、日常生活援助を行うことができる。
 ② 看護援助の思考プロセスを活用し、根拠にもとづいて日常生活援助を行うことができる。
 ③ 看護の基本的機能の観点と看護援助の思考プロセスから、日常生活援助における行為の意味について考えを深めることができる。

科目責任者(所属教室): 奥田 玲子(基礎看護学)

連絡先: 教員室 TEL: 0859-38-6303 E-mail: reokd@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード														
1	授業開始(4/15)以前の授業			・資料・課題対応	身体の清潔を援助する技術 皮膚・粘膜の生理学的メカニズムとケア 清潔ニーズのアセスメント	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・皮膚と粘膜の保護に関する生理学的メカニズムを理解する。 ・清潔のニードに関するアセスメントの視点を理解する。	皮膚・粘膜の構造と機能、清潔のニード、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)														
2																							
3	授業開始(4/15)以前の授業			・資料・課題対応	身体の清潔を援助する技術 部分浴 / 洗髪 基本的な留意点			奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・清潔のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・清潔のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた清潔援助の計画を立てる。 ・事例の清潔援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	洗浄剤、熱放散、清拭、部分浴、洗髪、入浴介助 清潔のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)												
4																							
5	4/16(木)	1	121	・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)16日は対面授業できました	身体の清潔を援助する技術 部分浴 事例を用いた援助					奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・衣生活のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・衣生活のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた衣生活援助の計画を立てる。 ・事例の衣生活援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	被服気候、寝衣交換 衣生活のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)										
6		2																					
7	4/23(木)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	身体の清潔を援助する技術 洗髪 事例を用いた援助							奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・衣生活のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・衣生活のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた衣生活援助の計画を立てる。 ・事例の衣生活援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	被服気候、寝衣交換 衣生活のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)								
8		2																					
9	5/14(木)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	身体の清潔を援助する技術 部分清拭 基本的な留意点 事例を用いた援助									奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・清潔のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・清潔のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた清潔援助の計画を立てる。 ・事例の清潔援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	洗浄剤、熱放散、清拭、部分浴、洗髪、入浴介助 清潔のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)						
10		2																					
11	5/21(木)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	衣生活を援助する技術 衣生活のニーズのアセスメント 寝衣交換 基本的な留意点 事例を用いた援助											奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・衣生活のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・衣生活のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた衣生活援助の計画を立てる。 ・事例の衣生活援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	被服気候、寝衣交換 衣生活のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)				
12		2																					
13	5/28(木)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	排泄を促す技術 排尿・排便の生理学的メカニズム 排泄ニーズのアセスメント 床上排泄 基本的な留意点 事例を用いた援助													奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・排尿と排便に関する生理学的メカニズムを理解する。 ・排泄のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・排泄のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた排泄援助の計画を立てる。 ・事例の排泄援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	排便・排尿のしくみ、床上排泄、持続的導尿、排泄のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)		
14		2																					
15	6/4(木)	1		・パターン3遠隔授業(リアルタイム学習)	排泄を促す技術 持続的導尿 基本的な留意点 事例を用いた援助															奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・排尿と排便に関する生理学的メカニズムを理解する。 ・排泄のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・排泄のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた排泄援助の計画を立てる。 ・事例の排泄援助について基本的機能の観点から行為の意味を理解する。	排便・排尿のしくみ、床上排泄、持続的導尿、排泄のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の計画、看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホデイメカニクス、倫理、安全・安楽)
16		2																					

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード		
17	6/11(木)	1	実習室 + 121	・対面授業	身体の清潔を援助する技術 足浴の援助 基本的留意点	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・療養環境における安全を脅かす要因を理解する。 ・日常生活援助における主な医療事故とその予防策を理解する。	医療安全、安全を脅かす要因、 医療事故、事故予防策		
18		2									
19	6/18(木)	1	実習室 + 121	・対面授業	衣生活を援助する技術 寝衣交換の援助 基本的留意点			奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・足浴の基本的留意点を理解する。 臥床での足浴	皮膚・粘膜の構造と機能、 洗淨剤、熱放散、 清拭、部分浴、洗髪、寝衣交換 看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホディメカニクス、倫理、安全・安楽)
20		2									
21	6/25(木)	1	実習室 + 121	・対面授業	排泄を促す技術 床上排泄の援助 基本的留意点			奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・洗髪の基本的留意点を理解する。 臥床での洗髪	皮膚・粘膜の構造と機能、 洗淨剤、熱放散、 清拭、部分浴、洗髪、寝衣交換 看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホディメカニクス、倫理、安全・安楽)
22		2									
23	7/2(木)	1	121	・対面授業	安全を守る技術 日常生活援助をするうえでの安全			奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・清拭および寝衣交換の基本的留意点を理解する。 片側上肢の清拭、臥床での寝衣交換	皮膚・粘膜の構造と機能、 洗淨剤、熱放散、 清拭、部分浴、洗髪、寝衣交換 看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホディメカニクス、倫理、安全・安楽)
24		2									
25	7/9(木)	1	121	・対面授業	統合技術演習 事例を用いた援助			奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・基本的ニードの充足状態をアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた日常生活援助の計画を立てる。 ・援助を実施・評価し、安全・安楽・自立性を考慮したよりよい援助方法を検討する。 ・事例の日常生活援助について基本的機能の観点から行為の意味の理解を深める。 ・基本的ニードの関連性を情報のつながりから整理し、広い視野で対象者を捉え、援助の意図を明確にする。	日常生活(食事・排泄・衣服・活動・清潔)の援助 基本的ニード、情報のアセスメント、 必要な援助の判断、 援助の計画、 援助の実施・評価、 看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホディメカニクス、倫理、安全・安楽)
26		2									
27	7/16(木)	1	実習室 + 121	・対面授業	統合技術演習 事例を用いた援助	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・基本的ニードの充足状態をアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた日常生活援助の計画を立てる。 ・援助を実施・評価し、安全・安楽・自立性を考慮したよりよい援助方法を検討する。 ・事例の日常生活援助について基本的機能の観点から行為の意味の理解を深める。 ・基本的ニードの関連性を情報のつながりから整理し、広い視野で対象者を捉え、援助の意図を明確にする。	日常生活(食事・排泄・衣服・活動・清潔)の援助 基本的ニード、情報のアセスメント、 必要な援助の判断、 援助の計画、 援助の実施・評価、 看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホディメカニクス、倫理、安全・安楽)		
28		2									
29	7/30(木)	1	121	・対面授業	統合技術演習 事例を用いた援助	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 藤原 由記子 山本 陽子	基礎看護学	・基本的ニードの充足状態をアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・対象者の個別性に応じた日常生活援助の計画を立てる。 ・援助を実施・評価し、安全・安楽・自立性を考慮したよりよい援助方法を検討する。 ・事例の日常生活援助について基本的機能の観点から行為の意味の理解を深める。 ・基本的ニードの関連性を情報のつながりから整理し、広い視野で対象者を捉え、援助の意図を明確にする。	日常生活(食事・排泄・衣服・活動・清潔)の援助 基本的ニード、情報のアセスメント、 必要な援助の判断、 援助の計画、 援助の実施・評価、 看護の基本的機能(環境整備、コミュニケーション、ホディメカニクス、倫理、安全・安楽)		
30		2									

教育ブランドデザインとの関連: 2, 3, 4, 5, 6, 7

学位授与の方針との関連: 1, 2, 3, 4

授業レベル: 2

評価: 授業目標の到達度を小テスト40%・課題60%で評価する。

実務経験との関連: 病院現場における看護実践の経験がある教員が、その経験を活かして、専門分野に関する指導をする。

教科書: ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 メディカ出版

その他: 授業目的・目標の達成に必要な適正な量の事前課題、事後課題が各回の授業で課されます。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。